

2024 年度(令和 6 年)第 2 回教育課程編成委員会 議事録

日 時 2025 年 3 月 18 日(火)14:00-15:00

場 所 旭美容専門学校 3 号館

出席委員	株式会社ふらいむ シニアマネージャー 有限会社ラボ・ビューティ取締役 Hair shop OZ オーナー Nail&cosmeticTOBIOKA オーナーネイリスト 旭美容専門学校 校長 旭美容専門学校 教務部長・美容科学科長 旭美容専門学校 トータルエステティック科科長	伊藤元 委員 佐々木昌美 委員 小林裕也 委員 前田佳苗 委員 溝口智紀 河村久美(司会) 豊田そのみ
オブザーバー	株式会社ふらいむグループ代表 旭美容専門学校 美容科	岩崎哲治 様 丹羽孝喜
書記	旭美容専門学校 事務	駒倉美佳

議事次第

1. 開会

美容科科長 河村久美から開会の挨拶がなされた。
司会者となり配布資料の確認をした。

2. 校長挨拶

校長、溝口智紀より今年 4 月より校長になった挨拶と、このような貴重な機会をいただいた御礼を伝え、この機会を明日へと繋げていく機会としていろんな方面からご意見をいただきたいと思います。と挨拶がなされた。

3. 議事

一、美容科、トータルエステティック科の教育課程について

1) 前回教育編成委員会以降の取り組みについて

トータルエステティック科の取り組みについて

前回委員会で頂いたご意見に対し、取り組んだ件について報告。

2024 年度も無事学生が卒業したことを報告し、2025 年度入学の学生の入学準備をしている旨報告。

前委員会以後の取り組みについて説明

① サロン体験

9 月東京研修(エステティックグランプリ店での体験)・・・スチューデントサロン実施前に体験

1 月スチューデントサロン実施時に体験。新たな気づきと自分との比較ができる良い機会となった

② 資格試験

実施方法と時期の見直し・・・1年制の学科の為、就職活動が早期にある。履歴書等に記載できる美容業界に關係する資格取得を早期に取得する仕組みとして CBT 方式により受験できる資格を受験。合否結果も即時わかる為履歴書への記載も可能。

③ スチューデントサロンでの取り組み成果の報告

ネイル・・・お客様にケア・オフへのマシンの導入。フットケアの導入。

エステ・・・各年度クラスのカラー、得意なことを売りにしてスチューデントサロンを運営し成果を出してきている。

現場と教育の現場との差をなくすために取り組んでいきたい。

美容科の取り組みについて

・(前回提案)

美容科でも美容体験を2回に増やした。

一回目・・・美容師の仕事を授業として体験することにより

二回目・・・半年学んできて改めて授業として体験することにより新たな気づきや反省点、目標が見つけることができたと思います。

・2年生では国家試験対策として誤答率の多い問題を再度テストに使用するなどして筆記試験対策も行っています。

・コンテスト成果

CHA美容学生部門で佐野天海さんが3位受賞 学園祭のポスターも作成

(美容科・トータルエステティック科の取り組みについてのご意見)

・取り組みが浸透していったコツコツ続けていっていることが次の期生へと続いている。しっかり学校で学んできてくれるのでサロンでの即戦力となる。

エステ業界も人材難なのでとても助かる。 (佐々木委員)

・人口が減ってきている為、過剰供給になってきている。メニューを刷新するなどシステム自体を変化させていかないと難しくなっている。全ての技術にシンプルでわかりやすい説明が必要。

インセンティブ制度も見直し。若い世代とのギャップを埋める為こちら側も変化を。

失敗をしたくない世代 (岩崎様)

・サロンに就職してから教える時間をとるのが難しい。業務後の練習をする時代じゃなくなっているのでスチューデントサロンでの疑似体験は非常に助かる。 (岩崎様)

・AIを活用した授業 SNSの発信 (佐々木委員)

・店販商品の強化月間をサロンでも行っている。売れる人の特徴としては自分が気に入って使用している人。商品の説明というより自分の使用実感を伝えている。またサロンとして苦手なメニューはあえて入らず、得意なメニューをする方針にしている。 (小林委員)

・ネイルアンケートよりお手入れ時の不快感がほぼないというのはネイルマシンを使って施術していくうえで満足の結果だと思う。自分で考えたことを実践でき、結果の見れるよい機会。 (前田委員)

・情報があふれお客さまも賢くなってきている為、マニュアル通りでいかない。お客様によって対応してい

かないといけない。 (前田委員)

・年々ブラッシュアップされて行っている。 (伊藤委員)

・教える順番を変える必要。(我慢が苦手な人が多い)

(昔)お寿司屋さんになりたい人 ➡ 洗い物・掃除 ➡ 下準備 ➡ 仕込み ➡ 握る

(今)お寿司屋さんになりたい人 ➡ 握る ➡ 仕込み ➡ 下準備 ➡ 洗い物・掃除 (岩崎様)

2) 今後の取り組みについての報告、ご意見・質疑・応答

(要望)

・接客業なのでマナーを学んできてほしい。お客様にしていいことダメなこと。話し方。(岩崎様)

(今後)

➡キャリアデザイン、サロン運営の授業で学んでいるが、現場のサロンでのNG体験などを聞き、対応方法を学ぶようにしていくことも考えてみようかと思います。(溝口校長)

(要望)

・言葉のチョイス(間違いではなくても不快感を与えないチョイスができるといい) (前田委員)

・感じよく・・・接客業サービス業である。嫌われないこと。(岩崎様)

(報告)

・トータルエステティック科 ➡ ネイルエステ科に 2026 年より変更 (溝口校長)

(問)

・新人に期待することは何？ どういうステータスが飛びぬけている子が欲しいか (溝口校長)

(回答)

若さ・元気さ・素直さ。チームに溶け込んで自分の役割をこなす。(佐々木委員)

感じのいい子(成績がいい子ではなく)人柄の良い子を重視してとるようにしている (伊藤委員)

個人よりもグループで頑張れる助け合えるメンバーで構成させていこうとしている。(岩崎様)

お客様から「あの子いい子だね」と言われる人。“人” (前田委員)

お店の状況や店舗によってほしい人材は変わってくると思う。10名でやっている今のお店では

チームで頑張れる人。全体ミーティングの時に決まったことに対して明るく頑張りましょうって言える人。

(小林委員)

これまで育った環境や持って生まれた資質もあると思うので教育の場としての学校でどうにかしていくこ

とは難しいと思うが、求めている学生像はサービス業、接客業であるため共通認識としておいてほしい。

(岩崎様)

二、その他

1) 次回会議の開催日について

別紙日程調整表に可能日を記入していただき提出してほしいと述べた。

日時:2025年9月開催予定 場所:旭美容専門学校 3号館

校長挨拶

お忙しいところ集まっていただき、貴重なご意見をありがとうございました。

頂いたご意見一つ一つしっかり考え、求められる人材を現場に送り出せるように進化していきたいと思しますのでよろしくお願い致します。と挨拶がなされた。

2) 閉会挨拶

貴重なご意見をありがとうございました。本日頂いたご意見を、教育課程の編成に反映していきたいと思えます。

以上